

9月14日

テーマ：「人の心にあるもの」

聖書箇所：マルコの福音書7章1節～23節

◆今日のみことば

「外側から人に入って、人を汚すことのできる物は何もありません。人から出て来るものが、人を汚すものなのです」

マルコの福音書7章15節

◆メッセージ

人の心は、外からは見えません。ですから外を綺麗に見せることが出来たとしても、人の心は見えないので本当に綺麗なのか、私たちは分からない時があります。

イエスさまが生きていた時代の宗教指導者たちは、イエスさまの教えに耳を傾けることが出来ませんでした。でも、熱心に宗教的な儀式を守っていたので、自分の心は大丈夫だと思っていたのです。

自分たちが作ってきたルールを聖書より大事にしてしまい、本当の神さまの心から遠く離れてしまったことに気づきませんでした。



例えば、宗教指導者、特にパリサイ人はこのように行動しました。意味も分からずにただ長く祈りました。人目につくところで祈るのが好きでした。「父と母を敬え」などの神さまの教えをおろそかにして、両親に生活費として渡すべきものを渡さずに、人から信仰深く見せるために、神にささげたと言ったりしたのです。家族を愛することは人には見えないのですね。人から「信仰深い」と褒められることばかりが気になってしまっていたのです。

パリサイ人は外側を大事にしすぎて、本当の意味を忘れてしまったのです。宗教指導者たちはイエスさまのことばに耳を傾けず、イエスさまの行動だけを見て非難をしました。

イエスさまは宗教指導者たちに大事なことを語っています。今の私たちも、心に留めたいと思います。

「ことばと行動だけで神さまを敬うのは良くない。心から神さまを礼拝することが重要だ。本当の汚れは人の心から出るものだ。」とおっしゃったのです。私たちの心にあるものの中に良いものもあります。しかし、「悪い考え、欲張り、盗み、殺人、高慢、ねたみ」などは、人の内側から出てくる汚いものです。



神さまがイエスさまをこの世に送ってくださった理由はここに 있습니다。イエスさまの十字架の愛によって、私たちの心をきよめてくださったのです。今日も神さまに感謝しましょう。心から礼拝をささげましょう。

◆お祈り

私の罪を赦してくださったイエスさま。私たちの心をきれいにしてくださってありがとうございます。ことばだけではなく、心からイエスさまを愛することができるように導いてください。

(三島キリスト教会牧師 崔在邱)